

工 事 番 号							
設計年度	令和2年度	河川災害復旧工事（普通河川荒谷川）付帯工事 三原市 本郷町船木					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=99m 転落防止柵工 L=99m							



仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 河川災害復旧工事(普通河川荒谷川)付帯工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和2年8月 広島県※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。(https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/)
 - ・その他関連規格類

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 原形復旧とする。

第2節 施工時間（施工に際しては地元調整を十分に行ったうえで作業を進めること。）

- 1 施工時間 8：00～17：00（作業可能時間）

第3節 安全対策

1 保安施設

工事標示板	現道工事における保安施設のうち、「工事標示板」の標準様式については、土木工事共通仕様書のとおりとすること。
工事情報看板等	路上工事に関する情報を歩行者や工事現場周辺の住民に周知するため、工事情報看板及び工事説明看板を設置すること。標準様式は土木工事共通仕様書のとおりとすること。

第4節 工事用道路

1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時

工事中・後の処置 随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。)

第5節 その他

1 工事中機資材の仮置き

受注者が責任を持って確保すること。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書 (令和2年8月 広島県) 『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型 (第2次基準値) 以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し (保険以外の場合はそれに代わるもの) を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んである。

2 法定外の労災保険の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約 (以下「法定外の労災保険」という。) を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財) 建設業福祉共済団、(一社) 建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社) 全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 その他

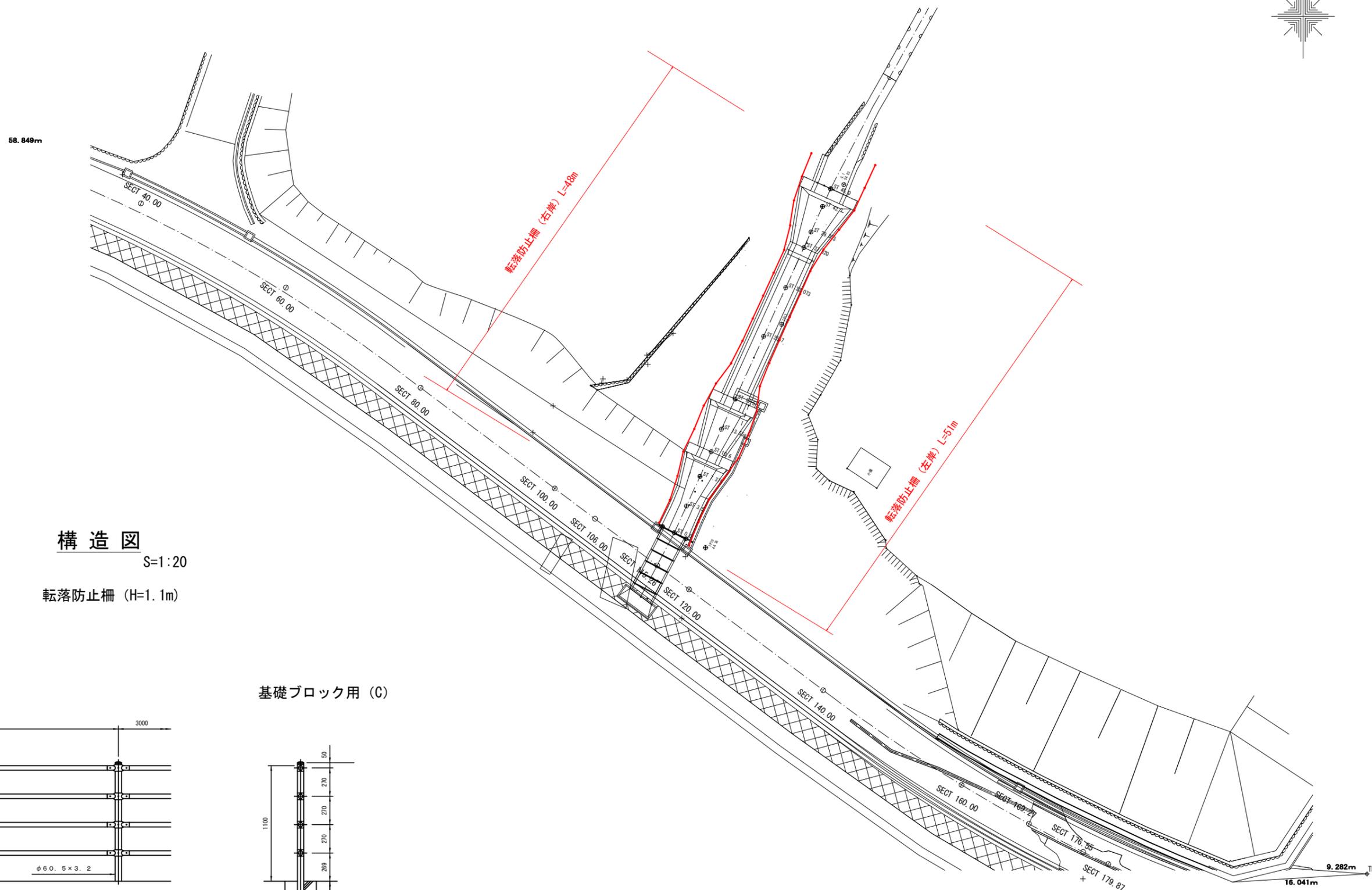
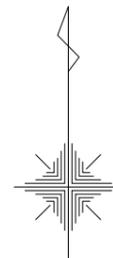
本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
河川維持		式	1	レベル1
附属物設置工		式	1	レベル2
防護柵工		式	1	レベル3
転落防止柵	プレキャストCoブロック建込 H=1.1m	m	99	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
一般管理費計				
工事価格				
消費税相当額				
工事費計				

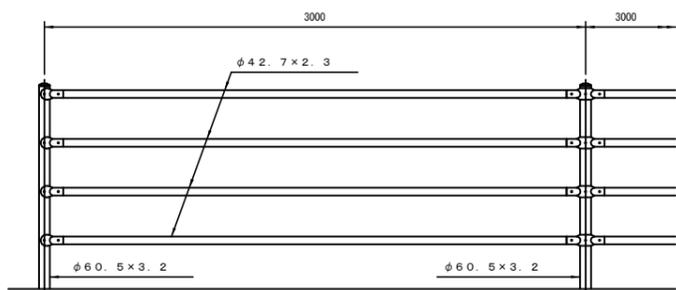
図面番号	縮尺
事業年度	令和2年度
工種	河川災害復旧工事
種別	平面図
名称	普通河川荒谷川 付帯工事
工事箇所	三原市本郷町船木(発電所横)
三原市	

平面図 S=1:250

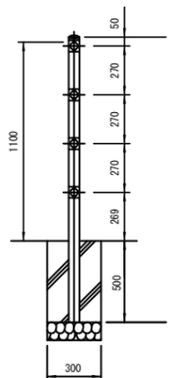


構造図 S=1:20

転落防止柵 (H=1.1m)



基礎ブロック用 (C)



参 考 資 料

—河川災害復旧工事（普通河川荒谷川）付帯工事—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-02.09.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 14 河川維持工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川維持					Y1B01 レベル1
付属物設置工	1	式			Y1B0107 レベル2
防護柵工	1	式			Y1B010701 レベル3
転落防止柵 プレキャストCoブロック建込 H=1.1m	1	式			Y1B01070102 レベル4
横断・転落防止柵 PCブロック建込 ビーム式・パネル式 [規]100m以上 プレキャストCoブロック建込	99	m			SS000143 00
転落防止柵（材料費） 独立基礎用	99	m			単第0 -0001 表
フェンス用基礎ブロック 300×300×500mm 参考質量72kg	99	m			W0001
フェンス用基礎ブロック 300×300×500mm 参考質量72kg	35	個			TTPCH0004 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
** 工事価格 **					

数量総括表

—河川災害復旧工事（普通河川荒谷川）付帯工事—

参 考 図

—河川災害復旧工事（普通河川荒谷川）付帯工事—

